

令和 8年 4月 15日

報道機関 各位

【令和8年4月21日(火)受賞報告会を開催】

本学初の快挙！

総合理工学部 細田智久 教授が「日本建築学会賞」を受賞

◆本件のポイント！

- ・総合理工学部の細田智久教授(専門:建築計画学)が、一般社団法人日本建築学会の「2026 年日本建築学会賞(論文)」を受賞しました。建築学において国内最高峰の賞であり、島根大学として同賞の受賞は初めてとなります。
- ・研究テーマは「山陰地方の山間地域自治体を中心とする公共公益施設と学校施設の整備再編に関する研究」であり、山陰に根差した研究が全国的な評価を受けました。
- ・以下のとおり、細田智久教授より本学大谷学長への受賞報告会を開催しますので、報道機関の皆さまにおかれましては、是非ご出席いただきますよう、よろしくお願いいたします。

◆受賞報告会の概要

日 時 令和8年4月21日(火)10時 30 分より
場 所 島根大学松江キャンパス 本部棟3階 特別会議室
出席者 学長 大谷 浩
総合理工学部長 亀井 淳志
総合理工学部 教授 細田 智久

◆本件の詳細

主催者:一般社団法人 日本建築学会
受賞名:2026 年日本建築学会賞(論文)
受賞者:細田 智久(島根大学教授)
受賞研究テーマ:「山陰地方の山間地域自治体を中心とする公共公益施設と学校施設の整備再編に関する研究」(学術論文 20 編を一連の研究としてまとめたもの)
令和8年5月29日に東京都にて学会総会と合わせて贈呈式が執り行われます。

一般社団法人 日本建築学会とは

日本建築学会は、建築に関する学術・技術・芸術の進歩発達をはかることを目的とする学術団体です。1886 年(明治 19 年)に創立されて以来、我が国の建築界において主導的な役割を果たしています。現在、会員は約 3.6 万名。会員の所属は研究教育機関、総合建設業、設計事務所をはじめ、官公庁、公社公団、建築材料・機器メーカー、コンサルタント、学生など多岐にわたっています。

土木学会や日本機械学会と並ぶ国内最大規模の学会です。

(参照:日本建築学会 HP)

日本建築学会賞(論文)とは

1949 年に「同賞・論文」「同賞・作品」の 2 つが設置されています。(後年になり技術、業績が追加されました)近年中に完成し発表された研究論文であって、学術の進歩に寄与する優れた論文を対象とします。分野を集大成した論文、独創的な単独の論文、あるいは新しい分野、境界領域の論文ま

で幅広く考慮されます。表彰件数は、「厳選寡少を旨とし 10 件を基準」とされています。
(参照:日本建築学会 HP、日本建築学会賞候補業績募集要領)

同賞受賞の価値

全国の建築構造、建築材料、建築施工、建築環境、建築計画・都市計画・建築史などの建築学の幅広い分野の大学研究者や企業研究者が 10 年以上にわたり積み上げた査読付き学術論文を一連の研究としてとりまとめ、応募するものです。応募者の多くが日本建築学会の査読付き学術論文誌(例:日本建築学会計画系論文集、同技術報告集など)に掲載された 20 編程度の論文を束として応募し、9 月から 3 月にかけて厳正な審査を経て選出される学術賞であるため、「建築学研究者の最高到達地点」と解釈されています。

また、建築学の多くの分野からトップレベルの研究業績のみが応募されるため、例えば建築計画学からの受賞者は 0~2 人/年の非常に狭き門であり、「建築計画分野の全国トップレベルの研究者」としての明確な称号となります。

島根大学での同賞受賞の意味

島根大学創設以来、島根大学教員が日本建築学会賞を受賞したのは初めてです。(2014 年日本建築学会著作賞を受賞した履歴はありますが、日本建築学会賞とは明確に別格のものです)

加えて、受賞研究テーマは「山陰地方の山間地域自治体を中心とする公共公益施設と学校施設の整備再編に関する研究」であり、大学地元地域の自治体や各種施設が抱える課題を 1 つ 1 つ地道に調査を重ねて考察し、その結果を日本建築学会の学術論文として継続的に投稿・掲載を重ね、全国に通用する知見の束を作りあげてきた長年の研究実績が評価されたと考えています。

なお、中国 5 県の国立大学現職教員で本賞を受賞されているのは、山口大学 2 名(都市計画、建築材料)、島根大学 1 名(歴史意匠:島根大学着任前の前任校在職中に受賞)のみと思われます。

◆本件の連絡先

(研究の内容等に関すること)

島根大学 総合理工学部 教授 細田 智久(ほそだ ともひさ)

電 話:0852-32-6563

メール:t.hosoda[at]riko.shimane-u.ac.jp

(受賞報告会に関すること)

島根大学企画部企画広報課 野村

電 話:0852-32-9729

メール:gad-koho[at]office.shimane-u.ac.jp

※送信の際には[at]を@に置き換えてください。

【添付資料: あり(枚) なし】